

## 第187回簿記能力検定試験

## 上級 商業簿記 解答速報

## 問題1

		借方科目	金額	貸方科目	金額
問1		土地	2,000,000	繰延税金負債	[ 600,000 ]
				評価差額	[ 1,400,000 ]
		S社株式	[ 60,000 ]	段階取得に係る差益	[ 60,000 ]
		資本金	3,000,000	S社株式	[ 4,620,000 ]
		資本剰余金	400,000	非支配株主持分	[ 1,620,000 ]
		利益剰余金	600,000		
		評価差額	[ 1,400,000 ]		
	のれん	[ 840,000 ]			

問2		借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	X社	買掛金	500,000	電子記録債務	500,000
	Y社	電子記録債権	500,000	売掛金	500,000
(2)	X社	仕訳なし			
	Y社	当座預金 電子記録債権売却損 保証債務費用	490,000 10,000 5,000	電子記録債権 保証債務	500,000 5,000

## 問3

## 繰越利益剰余金

③	6/20	諸口	[ 580,000 ]	4/1	前期繰越	850,000
③	3/31	その他資本剰余金	[ 120,000 ]	3/31	損益	[ 820,000 ]

## その他資本剰余金

③	6/20	諸口	[ 220,000 ]	4/1	前期繰越	320,000
③	12/8	自己株式	[ 250,000 ]	1/9	当座預金	[ 30,000 ]
				3/31	繰越利益剰余金	[ 120,000 ]

## 問題2

		損 益		(単位：千円)
借方科目	金 額	貸方科目	金 額	
売 上 原 価	[ ④ 55,290 ]	売 上		86,200
給 料	8,400	受 取 利 息	[ ④ 300 ]	
旅 費 交 通 費	[ ④ 1,847 ]	受 取 配 当 金	[ ④ 500 ]	
貸倒引当金繰入額 *1	[ ④ 1,557 ]	投資有価証券売却益		1,794
減 価 償 却 費 *2	[ ④ 690 ]	有価証券運用損益	[ ④ 160 ]	
支 払 地 代	[ ④ 960 ]		[ ]	
社 債 利 息	[ ④ 231 ]		[ ]	
関係会社株式評価損	[ ④ 2,030 ]		[ ]	
固定資産売却損	[ ④ 18 ]		[ ]	
開 発 費	[ ④ 1,500 ]		[ ]	
法 人 税 等	[ ④ 5,040 ]		[ ]	
繰越利益剰余金	[ ④ 11,391 ]		[ ]	
合 計	[ 88,954 ]	合 計	[ 88,954 ]	

\*1 貸倒引当金繰入額は、本来、販売費及び一般管理費、営業外費用または特別損失に損益計算書の記載区分を分ける必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金繰入額をまとめて記入すること。

\*2 建物と備品の減価償却費を合計して記入すること。

④×20=80点

③× 6=18点

②× 1= 2点

100点

## 問題1

	正誤	理 由
1.	○	
2.	×	部分的取替に要する費用を収益的支出として処理できる。
3.	×	工事収益総額についても信頼性をもって見積ることが必要である。
4.	○	
5.	○	
6.	×	退職時から現在までの平均的な期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。
7.	×	著しい改良に要した費用は研究開発費とする。
8.	×	自己株式の取得に関する付随費用は、損益計算書の営業外費用に計上する。
9.	○	
10.	○	

予想配点：各4点

問題2

問1	用 語		問1	用 語	
	(a)	財政状態		(d)	簿外
	(b)	利害関係者		(e)	総額
	(c)	正規の簿記	(f)	流動性配列法	

予想配点：3点

問2

相殺することにより企業の規模が不明瞭となり財政状態を適正に表さず、企業間の財務諸表の比較が難しくなるためである。

別解：「貸借対照表完全性の原則に反する」又は「企業の財務健全性の把握が難しくなる」と解答しても正解になると思われます。

予想配点：7点

問3

(1)	繰延資産
(2)	支出の効果が将来にわたって発現するため、その効果が及ぶ期間に合理的に配分し、適正な期間損益計算を行うためである。

予想配点：(1) 4点  
(2) 7点

問題3 選択肢：(ア) 増加する (イ) 減少する (ウ) 変わらない

		解 答
(1)	①売上原価の金額	ア
	②期末商品棚卸高	イ
(2)	①有価証券評価損の金額	イ
	②その他有価証券の金額	ウ
(3)	①減価償却費の金額	イ
	②備品の帳簿価額	ア

予想配点：4点

7点×2=14点  
4点×17=68点  
3点×6=18点  
合計 100点

## 第187回簿記能力検定試験

## 上級工業簿記 解答速報

## 問題1

## 問1

1	×	2	×	3	×	4	○	5	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

予想配点：各1点

## 問2

購入代価

材料A [ 12,825,000 ] 円 材料B [ 397,500 ] 円

取得原価

材料A [ 13,527,000 ] 円 材料B [ 423,600 ] 円

予想配点：各2点

## 問3

## 材 料

前月繰越	[ ☆ 4,681,000 ]	仕掛品	[ ★ 12,663,000 ]
諸口 (当月購入分)	[ ☆ 13,950,600 ]	製造間接費	[ ★ 1,858,960 ]
材料消費価格差異	[ ★ 14,000 ]	材料消費価格差異	[ - ]
	[ 18,645,600 ]	次月繰越	[ ★ 4,123,640 ]
			[ 18,645,600 ]

(注) 金額を記入する必要のない空欄には「-」を記入すること。

予想配点：☆=2点×2か所=4点

★=4点×4か所=16点

## 問4

直接工賃金の間接労務費分 [ 88,440 ] 円

間接工賃金・給料の間接労務費分 [ 1,816,220 ] 円

予想配点：各2点

## 問5

## 賃金・給料

諸口 (当月支払分)	[ ☆ 3,614,500 ]	未払賃金給料	[ ☆ 665,310 ]
未払賃金給料	[ ★ 661,290 ]	仕掛品	[ ★ 1,648,200 ]
賃率差異	[ - ]	製造間接費	[ ★ 1,904,660 ]
	[ 4,275,790 ]	賃率差異	[ ★ 57,620 ]
			[ 4,275,790 ]

(注) 金額を記入する必要のない空欄には「-」を記入すること。

予想配点：☆=2点×2か所=4点

★=4点×4か所=16点

## 問6

定時間外作業が一時的ないし特別に行われたものであり、特定の製造指図書に直接的に跡付けることが

困難な状況。

予想配点：4点

問 7

製造間接費配賦差異	[	64,850	]	円	(	有利差異	・	<input checked="" type="checkbox"/> 不利差異	)
						該当する方を○で囲むこと			
予算差異	[	196,150	]	円	(	<input checked="" type="checkbox"/> 有利差異	・	不利差異	)
						該当する方を○で囲むこと			
操業度差異	[	261,000	]	円	(	有利差異	・	<input checked="" type="checkbox"/> 不利差異	)
						該当する方を○で囲むこと			

予想配点：各 4 点

問 8

借 方	金 額	貸 方	金 額
製 品	21,145,200	仕 掛 品	21,145,200

予想配点：8 点

問 9

単純総合原価計算
等級別総合原価計算
組別総合原価計算

予想配点：各 2 点

問題 2

問 1

価格差異	[	53,220	]	円	(	<input checked="" type="checkbox"/> 有利差異	・	不利差異	)
						該当する方を○で囲むこと			
数量差異	[	134,400	]	円	(	有利差異	・	<input checked="" type="checkbox"/> 不利差異	)
						該当する方を○で囲むこと			

予想配点：各 4 点

問 2

市場需給などの管理不能な外的要因を排除し、数量差異を材料消費量に係る純粋な差異として把握することが  
 -----  
 原価管理上有益であるため。  
 -----

予想配点：5 点

第187回簿記能力検定試験

上級 原価計算 解答速報

問題1

金額がマイナスの場合は△を付けること。

問1 [  $\Delta 10,250$  ] 万円 ⑧

問2 [  $\Delta 11,808$  ] 万円 ⑧

問3 [ 250 ] 万円 ⑦

問4 [ 449 ] 万円 ⑦

問5 ( A ) 案の方が ( B ) 案よりも正味現在価値が [ 509 ] 万円大きいので有利である。 ⑩

問6

複数の設備投資案の採否決定において、それらが独立投資案である場合には、通常どちらの方法によっても

正しい結論を導くことができる。一方、それらが相互排他的投資案である場合には、投資規模の相違により、

内部利益率の高い投資案が正味現在価値も大きいとは限らない。よって、より多くの利益をもたらす投資案を

選択するためには正味現在価値法の方が優れている。

⑩

## 問題2

## 問1

製品A [ 250 ] 円/時間 ② 製品B [ 400 ] 円/時間 ②

製品C [ 180 ] 円/時間 ②

## 問2

製品A	製品B	製品C
2,875 個	4,500 個	0 個

 ⑧

貢献利益の総額 [ 8,275,000 ] 円 ④

## 問3

製品A	製品B	製品C
3,000 個	4,500 個	900 個

 ⑧

貢献利益の総額 [ 9,210,000 ] 円 ④

## 問4

製品A	製品B	製品C
2,225 個	4,500 個	3,800 個

 ⑧

貢献利益の総額 [ 11,045,000 ] 円 ④

## 問5

損益分岐点売上高 [ 12,940,000 ] 円 ⑧



# ネットスクール WEB 講座のご案内

第 187 回全経簿記能力検定上級の受験、お疲れ様でした。

ネットスクールの WEB 講座では、今回の試験を受けてこの後の進路・学習についてアドバイスを行う各種“**無料説明会**”を開催いたします。

WEB 講座と同じシステムを使い、インターネットを通じて Live 配信を行います。Live 配信では、アンケートやチャットを通じて講師とのコミュニケーションをとることもできますので、気になることがあれば、ぜひご参加頂き、講師にご相談下さい。

イベント名	日時	内容
全経簿記上級受験者のための 税理士&日商簿記1級 WEB 講座 無料説明会	7月11日(火) 20:00~ (Live 配信)	第 187 回全経簿記上級試験に向けて学習した成果を活かして、11月の日商簿記1級や来年の税理士試験に挑戦するための効率的な学習プランをお届けします。(担当:中村雄行)

※日程は予告無く変更する場合がございます。詳しくは、ネットスクールホームページにてご確認ください。

※Live 配信を行った無料説明会は、翌日以降オンデマンド配信も行います。

**WEB 講座 Live 講義画面はこんなにすごい!**

**1 講師画面**

講師が直接講義を行います。臨場感あふれる画面です。

**3 ホワイトボード画面**

板書画面です。あらかじめ準備された「まとめ画面」や「資料画面」に講師が書き込んだりします。もちろんプリントアウトも出来ます。

**ライブ講義では、チャットで質問OK**

**2 チャット画面**

講師へのメッセージはいつでもどうぞ! 「質問」はもちろん「今のところもう一度説明して!」など、受講生からのお願いも OK です。

**4 アンケートボタン**

講師から「今のところわかりましたか?」などの確認をしたり、「皆さんに聞きますね」などの問いかけに使います。

**見逃しても大丈夫! オンデマンド配信**

学びやすさがスゴイ!!  
だから続けられる、合格できる

**電話・メール・SNSで質問・相談受付**

**オンデマンド講義は1.5倍速再生対応**

**スマホ・タブレットでも受講できる!**

詳しくは、ネットスクールホームページをご覧ください。

【URL】 <http://www.net-school.co.jp/>

【お問い合わせ】 0120-979-919(平日 10:00~18:00)

